



地域連携センターが発行しているニューズレター、今号は『特別編』として令和6年6月15日に札幌大学みらい共創スクエアを会場に開催した「まちづくりフェスタ」の様子をレポートします！

担当は、「まちづくりフェスタ広報班」の経済学専攻4年大野茜季・鈴木大晴、経営学専攻3年手塚汐音・国村桃香、ロシア語専攻3年吉田大朗の5名が各ブースをレポートします。

今号は、経営学専攻3年手塚汐音が担当します！



令和6年6月15日（土）～玄天祭と同日開催～

本イベントは、地域と学生をつなぐ地域交流の一環として、企画から運営まで学生スタッフ40名が主体となり、実施しました。当日は、延べ1,200人を超える皆様にご来場いただき、大盛況に終わりました。ご協力いただきましたむかわ町、栗山町、松前町・まつまえ観光物産協会・松前高校、JAびほろの皆さん、ありがとうございました！

🗨️ まちフェス統括リーダー 経営学専攻3年 甚野菜緒さん

今回のまちづくりフェスタでは、全体を統括するリーダーとして、初めての経験をさせていただきました。右も左も分からない状態で始まり、拙い点々々あったかと思いますが、各ブースのリーダーや地域の方と協力することで、今年度も無事、大盛況に終わることができたと思います。来年もまた賑やかなブースになればと思います。お忙しい中zoomでの打ち合わせや当日の販売など、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。来年度以降もどうぞ、よろしく願いいたします。

キャリアデザインラボ

～子ども向けイベント『わくわく♪ときどき！おかしくじ』～



キャリアデザインラボ（CDL）に所属するメンバーが、“まちフェスに来場するお子様がより一層、楽しめるように”という考えから「わくわく♪ときどき！おかしくじ」を企画・運営しました。

1回100円で好きな紐を引てもらい、おかしには、むかわ町、栗山町、松前町・まつまえ観光物産協会・松前高校、JAびほろに協力いただき、それぞれに関連する豆知識を載せた地域紹介カードをつけました。さらに特典として、むかわ町の恐竜たいやきと交換できる当たり券を20個分用意しました。当日は、事前シミュレーションや作成した運営マニュアルを活用し、協力し合うことで、ハプニングにも落ち着いて対応することができました。暑い中お待たせすることもありましたが、多くのお子様にはらしていただき、大盛況に終わることができました。

サポート学生

- 【4年】大野茜季
- 【3年】甚野菜緒・伊藤侑華・手塚汐音・己扇彩葉
山館奈央子・岩田英太郎・国村桃香・吉田大朗・蛭名舜
- 【2年】遠藤太一・精進菜絆・伊達誠真・箕輪憲人
- 【1年】中山莉来・工藤亮太・田中颯人・山下春樹
中野琥太良・高田航士朗・藤澤惟吹・滋野冬獅・佐藤楓
山本慎太郎・佐久間陽暉・手島舞桜・伊藤瑞葵・伊藤綾
竹内花月・尾形結菜



事前準備① 各班ごとに役割分担をし活動

メンバーで会議した後、4つの班に分かれ、リーダーを中心にそれぞれで活動しました。

～カード班～

地域紹介カードのデザインは、対象となるお子様の目を引くものとして、文字の大きさなどにこだわりながら作成していました。地域の方にご協力いただき、「分かりやすく」、「伝わる」内容を意識して、掲載内容を考えていました。

～土台班～

おかしをつくるす台は、お祭り感を出すため、赤と白の配色でデザインしました。お子様のわくわく感をより演出できるよう、何度も試作を重ね、おかしを引くときにお子様の位置から見えるように工夫していました。



～マニュアル・クラウドファンディング班～

円滑な運営のため、メンバー間でさまざまな状況を想定し、運営マニュアルを作成していました。1年生にとってはCDLとして、初めて経験するイベントとなりましたが、先輩の助言を受けながら、取り組んでいた様子が印象に残っています。

～おかし班～

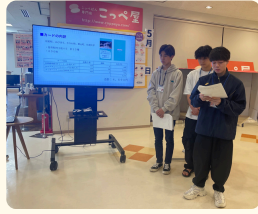
お子様の視点からイメージを膨らませるとともに気候や当日の状況を想定しながら、準備を進めました。前年度の来場者数を参考に、今年度の来場者数を想定しておかしの個数を決めるなど、自分たちの知見を活かしながら取り組む様子が伺えました。

事前準備② 学内クラウドファンディング／実施報告会

今年度も昨年度同様、地域連携センター長や学内の教職員の皆様に向け企画のプレゼンテーションを行い、賛同者の方々より運営資金の支援をいただきました。また、イベント終了後には賛同者に向けた実施報告会を行いました。当日の様子や売上、反省点などを報告しました。

～学内クラウドファンディング～

～実施報告会～



キャリアデザインラボ 経営学専攻2年 遠藤太一さん

これまでCDLとして、さまざまな活動をしてきましたが、地域紹介カードやくいの作成など、初めての試みに、苦戦することが多くありました。1年生にとっては、CDLとして初めて経験するイベントとなりましたが、率先しておかしくいを盛り上げてくれたことで、お子様にも満足いただけ、個人的には「大成功」だと感じています。今回の反省点を活かして、来年はさらに良い企画となるよう、皆で一丸となりながら、頑張りたいと思います。



三大学マルシェ

～『食と観光』をテーマに～

Q. 三大学学生交流課題研究会議とは？

札幌大学（北海道）と鹿児島国際大学（鹿児島県）、松本大学（長野県）の三大学間包括連携協定に基づき、国内の地方都市に所在する三大学の学生が地域や社会的課題についてテーマを設定し、学生間で議論・交流等を行うことを目的として、年に一度、各大学が持ち回りで開催しているものです。

昨年度の三大学学生交流課題研究会議のテーマは **「食と観光」** でした!!

地域活性化のために考案したアイデア「三大学マルシェ」を実現するべく、オンラインツールを活用しながら、地理的な距離を克服し、良好なコミュニケーションを図りながら、学生主体で準備を進めました。地域の企業と連携した名産品PR活動として、本学からは北海道で長年愛される千秋庵製菓の銘菓「山親爺」を、松本大学からはお茶元胡蝶庵の「スティックケーキ」、鹿児島国際大学からは坂之上製茶の「おやっとな茶～」をPRするとともに、それぞれの地域の魅力を発信するため、学生が制作した観光マップも配布しました。本学学生による「山親爺」の取り扱いは、学生が千秋庵製菓株式会社様に伺い、企画提案したうえで実現しました。また、実際に店舗で行われている試食方法を見せていただくなど、当日の運営に向けてもサポートしていただきました。



【サポート学生】 経営学専攻3年 伊藤侑華 経済学専攻3年 久我啓介
経営学専攻3年 己扇彩葉 経営学専攻3年 山館奈央子



さらに詳しい情報はこちらに掲載しています。最新情報も投稿しています。皆さんぜひご覧ください。

公式Instagramはこちら!



三大学マルシェ学生リーダー 経営学専攻3年 伊藤侑華さん

今回のまちづくりフェスタで初めて「三大学マルシェ」という試みをさせていただきました。連携している3つの大学の学生たちとスケジュールを合わせて進めるのはとても大変でしたが、やって良かったとやりがいを感じました。来年度以降もこの「三大学マルシェ」を続けられるよう、今後も取り組みを続けていきたいと思っています。

